
地域史研究

—尼崎市立地域研究史料館紀要—

第 118 号

平成 30 年 11 月

お届けします…

○尼崎市が市制100周年を迎えた平成28年（2016）、史料館は現在の市域を記録する写真を公募しました。応募作品のなかから16点を選び、定点写真のもとになった昭和39年（1964）の小川弘幸氏撮影写真とともに巻頭に掲載しました。尼崎のいまが、いきいきと浮かび上がります。

●今回の号には、取り上げる時代、分野、そして執筆者の年齢層も含めて多彩な論考5本を掲載しました。近世尼崎城下絵図の比較検討を行なう川崎論文、明治～昭和戦前期の経済史に関する武田氏の史料紹介と兒玉・島田論文、そして本誌初の高校生の寄稿論文となる井上論文と、力作揃いです。

○史煙は二本。かねて尼崎城調査に取り組む青手木氏と、地域史でもあるめずらしい社史に取り組まれた森氏に、それぞれの取り組み紹介をお寄せいただきました。

●定例の連載稿、樋口氏・天野氏による中世史料補遺・史料研究と、田中氏「あまおぶね」もお楽しみください。